

第8回大志連区防災訓練マニュアル

2025(R7)年11月29日(土) 午後 オリナス一宮

初の見守り
体制作り!広報紙81号記事
(R7-11月号)災害時において自力での避難が困難な方の
連区における見守り体制づくりの第1歩としたいです。!!

~R7 大志連区 見守りローラー大作戦！(防災ミーティング)~



すでにお知らせした内容ですが、改めて参加の呼びかけをさせてください。

災害時において自力での避難が困難な方がお見えになります。 そうした方を、連区の役職や立場に関係なく、より多くの方の意識や善意で支えていただけませんか。 そんな連区における見守り体制づくりの第1歩としたいです。

自主防災リーダー会 会長 佐藤 潤

2025年11月29日(土) オリナス一宮 1階ホール 15時集合

15時～ローラー大作戦ミーティング 近隣の方でグループをつくり、いざというとき、助けるべき人を支えられるよう地図を見ながら情報交換・共有します。決してこの先のご負担や役割を押し付けるものではありません。年齢、性別、立場等関係なくご参加いただきたいです。**16時～親睦会**（飲み物・軽食お出しします） 見守る方同士もつながりを深めたいですね。 むしろこれが大切。流れ解散としますのでご都合つく時間まで構いません。 楽しく会食して親睦を深めましょう。夕食代わりにもどうぞ！

参加いただける方は右 QRコードから申し込みください。

もしくは氏名・住所を以下までお知らせください。

TEL&FAX 26-3212 (佐藤) メール：isato@orihime.ne.jpQRコード
(略)

受付：・名札（内容確認後サイン）

- ・ポイントシール（赤、青、黄緑、黄、ピンク）
- ・本編（ブロック別、持ち帰り可）
- ・分冊（ブロック別、要返却）

頁 資料担当

・本編	① 表紙	1 木村
	② 進行表	1 佐藤・伊藤
	③ 会長あいさつ、資料の説明	2 佐藤・伊藤
	④ 準備品一覧、名札の例	1 山田
	⑤ 所属ブロック 白地図A4判（黄紙、各自保管）	2 伊藤・山田
		1 伊藤

・分冊	所属ブロック（1, 2, 3, 4-1, 4-2）別、赤紙/赤枠	
	⑥ 所属ブロック 参加者名簿	1 佐藤・伊藤
	⑦ 所属ブロック R7たすけあい避難名簿	1 伊藤
	⑧ 所属ブロック R7住宅地図 A4判	1 伊藤
	⑨ R6たすけあい避難名簿（リーダーのみ）	3～5 佐藤・伊藤

その他 ⑩ 過去7回の大志連区防災訓練まとめ（動画あり、地図付） 佐藤・木村

← <https://138daishi.org/2025/10/29/daish-bousaikunren-hinanjiyounei-torikumi/>

木村



大志連区自主防災会連絡協議会 大志連区自主防災リーダー会

令和7年度「見守りローラー大作戦」(防災ミーティング) 進行表

14:45 1. 受付～着席 ブロック別

- ① ブロックごとに分かれて、大地図の周りに集まる
- ② 大地図に自宅の場所へシールを貼る（任意）

15:00 2. 会長あいさつ

あいさつ：大志連区自主防災会 佐藤会長

3. 進行表と配布資料説明

説明：大志連区自主防災会 伊藤副会長

4. ブロック別ミーティング

- ① 自己紹介
- ② 要援護者の情報を共有する（地図にプロット済）
- ③ リストにない各自が知っている要援護者の情報を共有する
(R6 年度のリストも参照)

5. ブロックリーダーから各ブロックでの意見をまとめて発表

発表：各リーダー

6. 要返還資料の回収

回収の案内：伊藤副会長

16:00 7. 懇親会

1. 会長あいさつ

- 目的：大志連区防災・見守り体制の確立

災害時のみならず、平常時を含めた見守りを目的として、各種団体・町内会の役割にとらわれず、連携できるような組織・連絡網づくりを目指したい

- 名札の裏面：個人情報の管理

今後の防災ミーティング開催に向けて登録をお願いしたい
そのため、裏面の記載内容を確認していただき、修正をお願いし、サインの欄に自署で苗字をいただきたい。
空白のかたは、了解いただける場合に、ご記入をお願いし、
今後参加を控える場合は、二重線等により消していただきたい。

- ミーティング終了後の懇親会が「今回の主な開催する目的の

ひとつの柱」である。

支援する人のつながりを大切にしたい。

2. 資料の説明

1. 資料の確認・説明

本編(白紙)：本日のスケジュール

ブロック別白地図のみ黄紙

分冊(赤紙)：ブロック別の参加者名簿・たすけあい避難名簿・

住宅地図

※ 赤紙は要返却紙ですので後ほど回収します

「たすけあい避難名簿」とは

(1) 避難行動要支援者

災害が発生し、または災害が発生する恐れのある場合に、自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保をはかるために特に支援を要する者

(2) たすけあい避難名簿

避難行動要支援者について避難の支援、安否その他の避難行動要支援者の生命または身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎とする名簿。

たすけあい避難名簿と個別避難計画について

1. たすけあい避難名簿について

(1) 避難行動要支援者

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に 自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。

(2) 避難行動要支援者名簿(たすけあい避難名簿)

避難行動要支援者について避難の支援、安否その他の避難行動要支援者の生命または身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎とする名簿。

2. たすけあい避難名簿の対象者と掲載情報について

(1) 対象者(登載要件の見直し後)

- ① 身体障害者手帳 1・2 級
- ② 療育手帳 A 判定
- ③ 精神障害者保健福祉手帳 1 級
- ④ 要介護 3~5
- ⑤ 指定難病・小児慢性疾患
- ⑥ 医療的ケア児【新規】
- ⑦ 申請(旧災害時たすけあい隊含む)

(2) 掲載情報

氏名、生年月日、住所等の基本情報、名簿登載の理由、個別避難計画の作成状況

(3) 名簿の送付先

町会長、民生児童委員

3. 個別避難計画について

(1) 記載内容

- ① 氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、避難支援等を必要とする事由
- ② 支援者の氏名又は名称、住所、電話番号
- ③ 緊急連絡先
- ④ 避難施設
- ⑤ 持病やかかりつけ医などの情報

(2) 計画の提供

計画は、対象者の詳細な情報や支援者の情報など、個人情報が多く含まれているので、対象者本人と支援者にのみ提供。

(3) 計画の策定状況が分かると

名簿に掲載されている方のなかで、「計画策定済み」となっている方は、誰と、どこに避難するかが決まっている人であることが確認することができます。

準備品

住宅地図A0	1から4-2ブロック各1部 山田さん依頼
住宅地図A4	1ブロック：17 2ブロック：17 3ブロック：18 4-1ブロック：18 4-2ブロック：15
白地図	1ブロック：17 2ブロック：17 3ブロック：18 4-1ブロック：18 4-2ブロック：15
たすけあい避難者名簿R6,R7	1ブロック：17 2ブロック：17 3ブロック：18 4-1ブロック：18 4-2ブロック：15
筆記用具	ボールペン：70 マジック黒8
会場案内	A4 2部
マイク	1
名札（裏面：TEL・メルアド）	山田さん依頼 11/19めど
ポイントシール	5色 赤・青・基・緑・ピンク
飲食物関連	飲み物・紙コップ・紙皿・箸・菓子・惣菜・ゴミ袋

①名刺大の倍のサイズに下記の例の様に記入し、折り曲げてカードケースに入れぶら下げる

- ・左側：簡略住所、ブロック別色○ 氏名、会員番号、所属ブロック
- ・右側：住所、電話番号、メールアドレス、サイン欄

②2回目以降の集まりの名簿に掲載していい方は、サイン欄にサインしてもらう

記載内容に誤りがあれば修正、追記

③サンプル

(1)受付 担当：佐藤・伊藤・石原 (ブロックリーダーは各ブロックにて待機)
あいうえお順受付名簿より参加者をブロック分け
ブロック毎に分けられた資料を渡す。
資料：名札・○シール・持ち帰り可能資料(白紙、黄紙)・要返却資料(赤紙)

(2)ブロックミーティング前

- ①サブリーダーを決め、役目(資料へ追加事項記入、大地図へ追加・訂正記入、新たなたすけあい避難者があれば大地図に記入)を依頼。
- ②受付を終えた参加者に自宅位置に○シールを貼り(任意)苗字を書いてもらう。
自宅が住宅地図の範囲外の方は目安でお願いしてください。
- ③参加者名簿(住所・氏名)の確認
名札裏面の記入済み電話・メルアドの確認
し次回以降も協力いただける方はサインをお願いしてください。
電話・メルアド未記入で記入可能な方(記入は任意です)はお願いしサインを
いただく。すでに記入印刷済みでも情報の提供に抵抗のある方はX印を。

(3) ブロックミーティング

短い時間なので先ず①-1～3を行う。

- ①-1：参加者には、名簿順に机の周りに着席いただく。
- ①-2：参加者の自己紹介を短めにお願いする
(氏名、住所、参加の思い、・・・) 各自1分程度
- ①-3：リーダーが要支援者の名前、住所を1名ずつ読み上げ地図で確認し
手を上げていただきサブがメモる
5点：顔も名前も分かる
3点：顔は分かる
1点：全く知らない

以上で基礎データーが取れたので②以下に進む

①名簿登載者1名に対し複数で見守れるよう分担し、可能な範囲で名簿登載者の情報を共有、記録する。まったくわからないような場合、もしくは見守り分担できないような登載者がいる場合はその旨登録者名簿に記入し全体会での話題とする。

②登載者以外にも見守りが必要な方がいればピックアップし、①同様の手続きを行い住居場所を住宅地図(大地図)・白地図・R7登録名簿に記入する。R6旧名簿登載者情報も参考にする。

③①②で情報がわからないようなケースは、隣接町内グループにも情報提供を求める。

④見守る側になっていたけるような方の情報があれば記録しておく。

地図上の登録者住居場所に誤りがある場合は住宅地図大地図に正しい位置を記入し、登録者名簿に変更のある場合はその旨を記入する。

(4) 全体会

各ブロックより、全体への情報提供及び他ブロックに確認したいことがあれば発表する。

ミーティング終了後要返却資料(赤紙)の回収

日時・場所・スケジュール

11月29日(土) 於オリナス1Fホール

13:00～ 搬入・会場設営

14:00～ ブロックリーダー打ち合わせ

14:45～ 受付開始

15:00～ ミーティング

16:00～ 親睦会

17:00～ 搬出・後片付け

「大志連区自主防災リーダー会」グループLINE登録のお願い

大志連区自主防災リーダー会

会長 佐藤 潤

大志連区では、自らの手で自らの地域を守っていく事を目指して、「大志連区自主防災リーダー会」を平成30年度に設立し、現在60名ほどが登録いただいている。

東南海地震といった大震災もさることながら、気候変動、温暖化に伴い、被害が甚大化してきている台風や、局所的で想定外の大雨に対しても、切迫した脅威を感じずにはいられない昨今。またこの先は、防災のみならず、高齢者や生活弱者含めた地域での見守り活動にも広く視点を移していく必要性を感じています。

連区での役職や立場、年齢、性別は問わず、一緒に防災、そして平時からの見守り活動に必要性を感じていただける仲間を募集しています。

また、防災に限らず、連区内の様々な行事を通じて、私たち仲間同士もつながっていきましょう。

「リーダー」と言っても何も強力なリーダーシップを発揮できる方や、防災の専門家を求めているわけではありません。

明日の大志連区を、そして防災や弱者見守り支援を考えていこうという人の輪、つながりを作っていくこうという取組みにほかなりません。

決して大きな負担になるような役割を押しつける事はございません。ぜひ、この先を見通した仲間作りの一環というようなお気持ちで、加入いただければ幸いです。

活動の内容としましては、メール・グループLINEを通じて、年に数回、防災訓練や会員間のつながり目的とした行事スタッフ（敬老会等）の案内・依頼をさせていただきます。参加の強制は全くありません。可能な範囲でご参加検討いただければ結構です。

お仕事の都合で、登録されていても実際にはなかなか出席できない方もたくさんお見えです。しかし情報だけでも共有することで、つながっていけますし、いざという時のおひとりとして、大きな人材となります。

何より、人のつながりこそが、連区の力であり、財産なのです。誰もが被災し動けなくなる可能性があることを考えれば、自ずとこの意味、必要性は理解いただけると思います。

どうぞ、設立の趣旨をご理解いただき、皆様の積極的な加入、グループLINE登録をお待ちしています。お問い合わせに関しては、以下まで遠慮なくお寄せください。

ご賛同いただけましたら、ぜひ本日この場でご登録いただければ幸いです。

佐藤 潤 090-6594-3075

jsato@orihime.ne.jp

① 本日の「R7 大志連区 見守りローラー大作戦！（防災ミーティング）」の資料は個人情報掲載資料は除き、大志連区地域づくり協議会の HP（ホームページ）にも掲載しています（HP は木村が運営）。

[『見守りローラー大作戦（防災ミーティング）』のお知らせ板 11/29\(土\)午後
オリナス一宮で開きます | 大志連区地域づくり協議会](#)

又は

<https://138daishi.org/2025/11/24/r7bousai-meeting/>



資料のダウンロードもできます

② 本日の模様を FM いちのみやの番組 「連区 23（レンクトースリー）」でお話してきます。

- 12/16（火）9:00～ 15 分程度 木村出演
- 番組名：連区 23（レンクトースリー）
- ラジオ、スマホ、PC で聴けます *
- 録音して後日地づ協 HP の①に掲載します。

* : ラジオ、スマホ、PC で FM いちのみやを聴くには

☆ラジオで聴くには、FM76.5

☆スマートフォンやパソコンから FM いちのみやをお聴きいただけます。

- スマートフォン無料アプリ「Radimo（レディモ）」

- パソコン無料アプリ「JCBA インターネットサイマルラジオ」

※本内容を神山連区避難所運営委員会で説明した時の録画をYoutubeにUPしました。

確認下さい。<https://youtu.be/4Q0FE3IQ1W8> 250831 防災講演-大志連区の取組.mp4



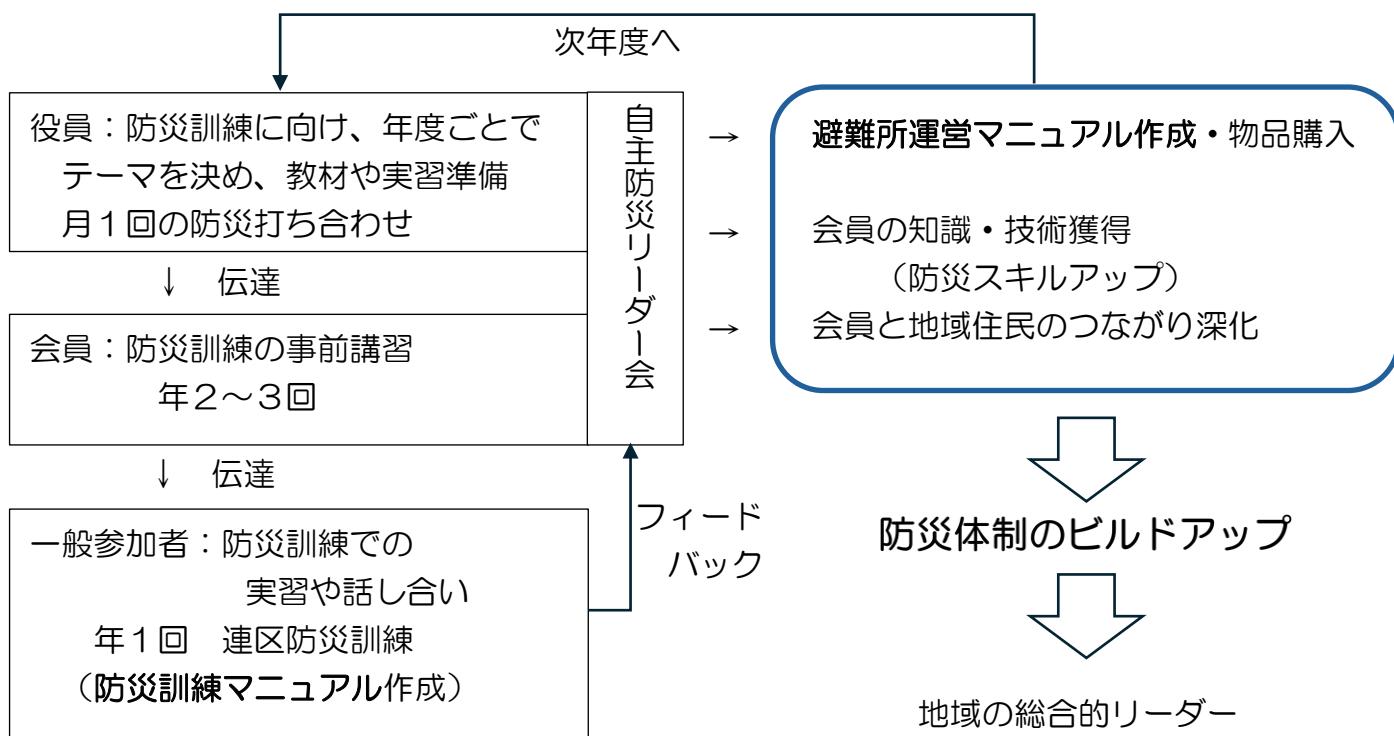
(1) 自主防災リーダー会の設立経緯

町内会基盤の自主防災会は、市の台帳上で形式的には存在していたものの、実質的にはほとんどの町内会で機能していない状況を憂慮。H29から連区内での立場や役職、年齢、性別に一切とらわれず、継続的に大志における防災に共に取り組んでいける人材を募集してスタート。 H29: 15名 H30: 40名 R1: 79名 R5: 87名

R7: 61名 (連絡網見直し) (男性 32名、女性 29名)

(2) 大志連区における防災体制構築へのイメージ

大志連区自主防災リーダー会（以下リーダー会）の会員が、連区の防災訓練において、実習の講師役や情報交換（防災ミーティング）での司会役といった役割を担うことで、自らの防災スキルアップを図るとともに、地域とのつながりも深めていく。さらにこうした活動を通じて得られたノウハウを活かして避難所運営マニュアルを作成し、必要な物品を積極的に購入していき、防災関係のソフト、ハード両面を充実させていく。そして最終的には、リーダー会員が、防災に限らず、地域の総合リーダーとしての役割を担えるようにしたいと考える。（佐藤自主防災リーダー会長：連区長）



計画：R7/11/29 「R7 大志連区 見守りローラー大作戦（防災ミーティング）」、懇親会 計画中
於：オリナス一宮

ゆくゆくは、リーダー会員が各町内・地域におけるリーダー的存在となり、連区全体を見守る（高齢者・貧困・障害等社会的弱者）体制づくりができると考える。

(3) 大志連区の防災訓練

方針

- ① 消防署主導ではなく、リーダー会（会員）主導
- ② 身近で役立つ知識・技術を、全員が体験できる実習を通じて提供
- ③ 訓練を通じて得られたノウハウをもとに避難所運営マニュアル作成⇒（4）へ、物品購入

H29 第1回～R1 第3回：各回一般参加約 250 名

全員が体験でき防災に役立つ実習と、近隣同士によるグループでの情報交換会（防災ミーティング）をメニューの柱とし、リーダー会員が各班の班長として講師役、司会役を務めるよう計画実施。

テーマ：断水時のトイレの使用（凝固剤の使用方法、汚物処理方法等）

非常食の備え（進化している非常食の実物紹介と試飲試食）

心肺蘇生・AED 実習

防災ミーティング（マップを見ながら情報交換、共有、収集）



第1回訓練
H29年度

断水時のトイレの使用方法

第2回訓練
H30年度

何日も断水したらトイレどうしますか？
食べる事も大事ですが、排泄も健康面、衛生面から大切。

トイレの使い方を学べたのはとても有意義でした。（参加者）



《非常食の備えと試食》

最近の進化してきている非常食が紹介されました。ご飯に缶詰パン、ピスコやようかんなど少しずつですがいろいろ試食できました。「とてもおいしい。」「温かい食事ができることがありがたい。」と参加者の感激の声があがりました。



第3回訓練
R1年度



・参加者マップを置いて防災について話合う
防災ミーティング

R2 第4回～R5 第7回 コロナで一般参加断念
リーダー会員のみで実施 各回約 50 名

リーダー会員全員に身に着けておいて欲しい知識と技術習得・マニュアル作成、および避難所での

必要物品整備（購入）に集中。ピンチをチャンスに！を合言葉に、避難所環境を一気に進化させることができた。

① 物品購入：地域づくり協議会の提案事業交付金で購入

パーテーション 13 セット、アルミベッド 51 セット、エアベッド 27 セット
→ 2.1m四方の避難居室計 48 室

② 避難所開設初動マニュアル「作成およびスキル獲得」

コロナ対応受付 パーテーション・アルミベッド組立

電源確保（発電機起動・配線・LED 照明直結点灯・電化製品への電源供給）

水確保（4つの水源：ミルクタンク・高架水槽・受水槽給水栓・応急給水栓）

断水時のトイレ（既設便器での処理方法、既設便器使用不可での処理方法）



間仕切り
大志小屋運に
12セット
48部屋分
並べる

拡大

間仕切り
(1部屋分)



補充ベッド

アルミベッド



発電機に給油、トイレ窓から屋内に通線

防災訓練記録集としてまとめ 地づ協 HP にアップ 「大志連区 防災訓練 記録集(第1~7回)」

<https://138daishi.org/2025/08/24/daishirenku-bousaikunren-kirokusyuu/>

① 募集チラシ集

<https://138daishi.org/2023/10/24/231024bousaikunnrenn17-chirashi/>

② 訓練マニュアル集

<https://138daishi.org/2024/01/05/231022bousai-kunren-ichiran/>

③ 資料集・様式集

<https://138daishi.org/2024/01/26/r5siryou-yousikisyuu/>

④ 記録動画集

<https://138daishi.org/2024/11/17/daishi-dougasyu-bousai-kunewn/>



防災訓練記録集

PW :

（4）避難所運営マニュアルの作成

- ① 一番混雑するであろう開設初期に限定し、長期滞在への対応は考えない
(長期滞在に地域だけで対応できるわけがない →公助に任せる以外ない)
- ② 人が押し寄せるような大規模災害を想定 (少人数避難者なら市職員でなんとでもなる。
風水害 2名、震度5弱以上で緊急初動部4名で対応)
→ R7 震度6弱 (非常に強い揺れ) に変更
- ③ 具体的に示す (何が、どこに、どれだけあるか、どうやって使うか)

⇒ 7回分の訓練で得た知識・技術・ノウハウをもとに『大志連区 避難所運営 マニュアル』を作成しました。まだまだ不十分、順次充実して参ります。

<https://138daishi.org/2025/08/25/hinannijo-unei-manual240914/>

(1) 大志連区 避難所運営 マニュアル

目 次

- ①避難所設営 ⇒ 240914①避難所・設営
- ②倉庫備蓄品 ⇒ 240914②備蓄品
- ③水 ⇒ 240914③飲料水
- ④電気 ⇒ 240914④避難所・停電時電気
- ⑤トイレ ⇒ 240914⑤トイレ改
- ⑦避難所受付 ⇒ 240914⑦避難所・受付
- ⑧非常食 ⇒ 240914⑧非常食
- ⑩防災情報 ⇒ 240914⑩防災情報
- ⑯動画集 ⇒ 防災訓練 動画集

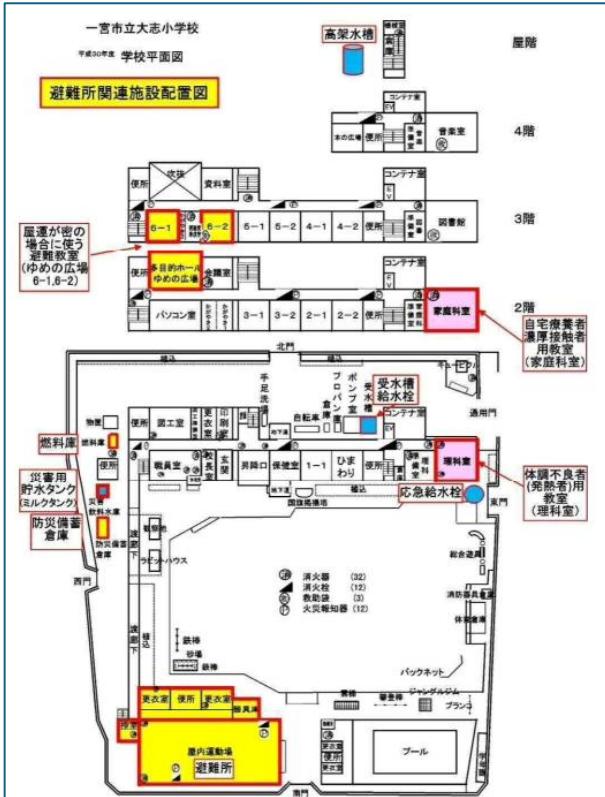


PW :



大志連区避難所（48室×2名）

①設営マニュアル抜粋



④停電時電気確保マニュアル抜粋

6.発電機1、2燃料補給・稼働



ガソリン缶頭部に付属の穴あき器を用い、2か所空を

め)、漏斗を長いガラス管が漏れないよう注入します。

二〇一〇—二〇一一年

發電機起動手冊

接続先機器全てのスイッチがOFFになっているのを確認してから稼働



- ①電流が100V側になっているか確認
- ②燃料コックを開ける
- ③エアバルブを開いて空気を充てんする